

国際交流基金 日中キュレーター交流 シンポジウム 「中国現代美術事情 最新レポート」

～中国4都市から5名の若手キュレーターが語る現地の現代美術最新レポート～

国際交流基金は、日本現代美術への関心・理解を促進し、日本と海外の美術交流の活性化を図るため、近年、現代美術の分野で著しい関心の高まりをみせている中国から現代美術の専門家を招へいます。

12月20日には、この交流事業の一環として、シンポジウムを開催します。シンポジウムでは、北京、上海、香港、重慶など中国各都市で活躍しているキュレーターが登壇し、それぞれの都市の現代美術を取り巻く最新事情をレポートします。また日本の現代美術事情と比較しながら、両国の現代美術の今後の動向や、グローバルな文脈におけるアジアの現代美術の可能性などを議論する機会とします。

中国では、現代美術を扱う美術館の開館が、2012年の上海当代芸術博物館を皮切りに増加の一途を辿っています。同時に同国における戦後・現代美術分野のマーケットも拡大を続けており、注目を集めています。



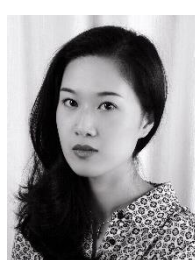
李佳



魏 穎



陸 思 培



付 了 了



倪 昆



多田かおり

多田かおり写真：第11回恵比寿映像祭「トランスポジション 変わる術」より
提供：東京都写真美術館 撮影：新井孝明

記

事業名称：国際交流基金 日中キュレーター交流 シンポジウム 「中国現代美術事情 最新レポート」

主催：国際交流基金

開催日時：2019年12月20日（金）18時30分～20時30分（18時開場）

会場：国際交流基金本部 2階ホール [さくら]

使用言語：日本語、英語（同時通訳付）

主な内容：中国人キュレーターによる各都市からのレポート（各15分程度）

ディスカッション（モデレーター：多田 かおり）

まとめ・質疑応答

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



KUMAKURA

中国現代美術の目覚ましい発展に注目を集める。来日するキュレーターは、鋭い視点から中国現代美術の現状を語り、注目を集める。来日するキュレーターは、鋭い視点から中国現代美術の現状を語り、注目を集める。

登壇者プロフィール

李 佳 LI Jia (北京・泰康空間 キュレーター)

ペースギャラリー北京のアソシエイト・ディレクターを務めたのち、2015 年から北京の非営利アートセンター泰康空間 (Taikang Space) でシニアキュレーターとして勤務、個展やグループ展の企画を数多く手がける。2017 年に中国で活躍する若手キュレーターに贈られるヒュンダイ・ブルー賞を受賞。

魏 穎 WEI Ying (WEI Jo) (北京・中央美術学院 キュレーター)

パン・バイオアート・スタジオ (Pan Bio-Art Studio/PBS) 創設者。中央美術学院では、ポスト・ヒューマン、バイオアート/バイオデザイン、エコロジカル・アート、AI などを研究。メディアアート関係の展覧会を中心に多数企画。第 1 回ならびに第 2 回北京メディアアート・ビエンナーレのコ・キュレーターを務めた。

陸 思培 LU Sipei (香港・香港城市大学 研究員)

英国で博物館学を学んだ後、香港城市大学で研究員として「ポスト社会主義の中国における現代美術とポリティカル・エコロジー」をテーマに研究中。近く広州美術学院の新美術館学研究センターで副研究員として勤務予定で、現在、広州美術学院美術館で開催される東南アジアの美術の展覧会を準備中。

付 了了 FU Liaoliao (上海・昊美術館 キュレーター)

上海明当代美術館 (McaM) キュレーターとして勤務後、2019 年から昊美術館 (HOW Art Museum) キュレーター。ソーシャリー・エンゲージド・アート、ならびに社会経済システム、ニューテクノロジーなどとアートの関係、公共空間の役割などに関心を持つ。グループ展の企画のほか、リ・ビンユアンやトーマス・ヒルシュホーンの個展も企画。

倪 昆 NI Kun (重慶・Organhaus Art Space キュレーター)

2006 年より非営利スペース Organhaus Art Space を共同設立、運営。2015 年から 18 年まで星滙当代美術館 (重慶・Galaxy Museum of Contemporary Art) キュレーター。急速な都市化とグローバル化の進む中国におけるアートのあり方を考えながら実験的な試みを企画。国内外で展覧会企画のほか研究活動や講演を行う。

多田 かおり (恵比寿映像祭 キュレーター)

2013 年より恵比寿映像祭に携わり、フォレンジック・アーキテクチャー、スタン・ダグラス等の海外作家をはじめ、ジョウ・タオ、レイ・レイ等の中国人作家、佐々木友輔、青柳菜摘など国内若手作家によるインスタレーションなどを担当。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当：熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



KUMAKURA

か ユ の い 注 術 中 興
り レ は 。 目 シ 国 隆
！ | 気 来 く ー の 目
タ 鋭 日 ン 現 覚
| の す だ に 代 し
ば キ ー さ ご 美 しい